

Race Report

- Chichibu BMX International 2026 兼 2026 JBMXF 大東建託シリーズ 第7戦 秩父大会 - 高崎 成琉

日時：2026年9月5日 天気：雨

出場クラス：Boys15-16

レースの出場人数：15人

【目標】 優勝すること
1本ごとにタイムを更新する

【結果】 1-4-3 決勝2位

【練習日】

この日の練習はフリープラクティスが2時間、ウォームアップ30分、公式練習30分という日程でした。この秩父のコースは先々週から3週連続で練習に来ているので長い時間で本数多く練習がしたいというより、ぱっと最終確認がしたいのと少し体を動かしたいという方が強かったので最初のフリープラクティスをスキップして、ウォームアップ30分、公式練習30分のみに参加しました。

この日の練習では以下のことを意識して練習しました。

- ・第1ストレートの1個目のバックサイド入ったらすぐひと漕ぎ入れる
- ・スタートが倒れるのが遅いので反応を一段階遅らせる

今回の練習で、スタートのときにコアが抜けて前輪が若干浮くことが多いと感じたので、レース日のウォームアップにコアのトレーニングをいつもより多めに取り入れようと思いました。

その他に気になるところはなく、調子はいい方だったのでスタートの意識だけいつもより強く持ってレースに挑めたらと思いました。

【レース当日練習】

この日の練習は公式練習30分という日程でした。

この日の練習も前日の練習と同じことを意識して走りました。

ウォームアップでいつもより多めにコアのトレーニングをして練習に行きました。

その結果、前日練習より前輪が浮くことが少なくなったのでこれからの練習やレースのウォームアップでコアのトレーニングを少し増やしていこうと思いました。

練習を終えて、コーナー付近が雨の影響でぬかるんでいて滑りやすいと感じたので、斜めに入るのではなく、転倒しないように真っ直ぐ入って曲がるように気をつけようと思いました。



【レース本番】

予選1本目

スタートがうまく決まり、第1コーナーを1位で立ち上がりましたが、第2ストレートの真ん中のWロールで若干前のめりになり過ぎてしまい、少し引っかかってしまいました。その時に少しスピードが落ちてしまったので、第3ストレートは速く走るのではなく、最終コーナーで抜かれないように若干スピードを合わせて走りました。その為、後ろとの距離は近くなりましたが、抜かれることはなく1位でゴールしました。2本目以降は第2ストレートの真ん中で前のめりにならないようにもう少し前で押そうと思いました。

ひとまず、1本目でゲートタイム、第1コーナータイム、ゴールタイ

ムのいずれも、カテゴリー内でトップのタイムが出せたので、目標達成に向けてタイムも上げていけるようにと思う反面、天候、路面状況を考えてより丁寧な走りを心がけることを忘れないようにしようと思いました。

予選2本目

2本目はスタートでコアが抜けてしまい前輪が浮いてしまいました。スタートで前に出られたので第1ストレートの最後までに抜くか抜かないかで迷いが出て1個目のこなしが中途半端になってしまい、前に出れず3位で第1コーナーを立ち上がりました。第1コーナーあけで寄せられて攻めるところじゃ無いと思い少し引いてしまいました。その結果第2ストレートでスピードに乗らず、アウト側から抜かれそうになったので第2コーナーで外側に寄せたら、その後ろを走っていた子に内側から抜かれて4位になってしまいました。ですが、まだ予選なので無理に抜きに行く必要はないと判断し、そのまま4位でゴールしました。



この時点で、目標であった1本ごとにタイムを更新するということは叶わなくなってしまいました。まずはしっかりと予選を突破することに気持ちを切り替えて、3本目で良い走りをすることに集中しました。

予選3本目

3本目はスタートでゲートに当たって滑ってしまい、後ろからスタートになってしまいました。

自分が内側にいたのでコーナー前までに並んでいれば第1コーナーで内側から入れると思い全力で追いかけていたところ、第1ストレートの最後で後輪が滑ってしまいました。転けそうになりましたが少し後輪をホップさせたことで、なんとか転けずにリカバリーできました。バタついてしまったこともあり、無理に第1コーナーで抜きにはかからず3位でコーナーを抜けました。ポイント的に3位でも予選は抜けれたので、順位をキープすることを第一に考え、3位をキープしたままゴールしました。

決勝

この日はスタートでのミスが多かったのでミスをしてもしリカバリーできるように8ゲートを選ぶか、空いている中で1番内側の3ゲートを選ぶかで悩んでいました。悩んだ結果、ミスしてもと考えてる時点で、そもそも前に出ることもうしろから抜くことも出来ないと思い、絶対決めて前に出るという強い気持ちを持って3ゲートを選びました。

また、タイムに関しても1本ずつ更新する目標は崩れてはいましたが、1本目のタイムを3部門（ゲートタイム、第1コーナータイム、ゴールタイム）全てにおいて更新することも狙って挑みました。

決勝はスタートがこの日で一番うまく決まり、第1コーナーを1位で抜けました。その後は第2ストレートの最後で少しミスをしてしまいましたが減速しないように切り抜けれたので良かったです。第3ストレートは目立ったミスがなく最終コーナーに1位で入りましたが、コーナーで地面を押す場所をミスしてしまい、コース外に飛び出そうになるぐらい大きく膨らんでしまいました。コーナーから飛び出ないように耐えるのに精一杯で減速してしまっている時に、後ろのライダーが抜きに来てるのが見えました。漕がなきゃ抜かれると思いました。ここで漕いだら雨の影響でぬかるんでいるところで漕ぐことになって、転けてしまうと思い漕げませんでした。漕げなかったことでスピードを再度上げることができず、最終ストレートで抜かれて2位という結果となりました。



また、タイムはゲートタイム、第1コーナー、ゴールタイム全てにおいて1本目のタイムを更新でき、ゲートと第1コーナータイムはカテゴリー内での最速タイムを出せていました。1位でゴールできていれば、ゴールタイムもカテゴリー内トップタイムを出せていたと思うので、結果の面でもタイムの面でも、コーナーでのミスが本当にもったいなかったなと改めて感じています。

【レースを終えて】

今回のレースは予選で1位を取ったのが1回しかなく、ミスが多いレースでした。決勝前はいつもと違う緊張感がありましたが、ここから勝ったらおもしろいという考えで、緊張を楽しみに上手く変換することができました。

そして決勝のスタートではこの日で1番いいスタートを決めることができ、「勝てる！」と思いましたが、最後の最後でミスをしてしまい、勝てるレースを落としてしまったことがただただ悔しいです。

この悔しさをバネに、全日本選手権6連覇でリベンジできるように頑張ります！
そして来年の世界選手権ではもう1度チャンピオンになれるように頑張ります！

